

新型コロナウイルスに関する三つの感染を防ぐために

みなさん、こんにちは。

少し前の話です。テレビを観ていましたら、新型コロナウイルスの感染に関して、コメンテーター（医師）が次のようなことを仰っていました。

「新型コロナウイルスの感染については、三つの感染が拡がる恐れがある。一つは、ウイルスそのものの感染。二つには、ウイルスに対する不安や恐怖の感染。そして、三つには、不安や恐怖からくる誹謗・中傷の感染。」

「一つ目の感染は、今、全国の研究機関が総力を挙げて取り組んでいる。しかし、二つ目、三つ目の感染については、医師は防ぐことができない。一人一人が正しい知識を身に付けることが大切だ。」

春以降順次全国各地の学校で教育活動が再開されてきましたが、児童生徒や教職員などの学校関係者の感染例が見られるようになり、それに伴い、感染者、濃厚接触者等とその家族、更には感染予防の最前線で奮闘されている医療従事者に対する誤解や偏見に基づく誹謗・中傷等が生起するようになりました。こうした事態を憂慮し、今年8月には文部科学大臣からメッセージが発せられました。この大臣メッセージ、保護者の皆さんには児童を通じてお配りしましたが、読んでいただけましたでしょうか？（まだ読まれていない方は、本校のホームページにも掲載しておりますので、是非ご一読ください。）

このメッセージのうち「児童生徒等や学生の皆さんへ」には、

「新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。」

「感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るように励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。」

などと書かれています。

以前、2学期の始業式で、学校教育目標の「みんなで伸びる」に関して、「『自分がされていやなことは人にしない。』一人一人、このことができれば、宮園小はもっと皆が伸びることができるステキな学校になります。」と児童に話したことをお伝えしました（詳しくはNo10をご覧ください）。まさにそのことと通じるものだと思います。

多様性の尊重の観点から「自他の違いを大切にし、助け合う子」の育成を目指す宮園小では、日本のどこかで起こっている話…ではなく、私たちの周りでも起こりうる話として、改めて子どもたちと考える機会を設定します。どうか、ご家庭でも話題にしてみてください。